

## 米英兩國ニ対スル宣戦ノ詔書

天佑ヲ保有シ萬世一系ノ皇祚ヲ踐メル大日本帝國天皇ハ昭ニ忠誠勇武ナル汝有衆ニ示ス朕茲ニ米國及英國ニ対シテ戦ヲ宣ス朕力陸海將兵ハ全力ヲ奮テ交戦ニ從事シ朕力百僚有司ハ勵精職務ヲ奉行シ朕力衆庶ハ各々其ノ本分ヲ盡シ億兆一心國家ノ總力ヲ擧ケテ征戦ノ目的ヲ達成スルニ遺算ナカラムコトヲ期セヨ

抑々東亞ノ安定ヲ確保シ以テ世界ノ平和ニ寄與スルハ丕顛ナル皇祖考丕承ナル皇考ノ作述セル遠猷ニシテ朕力拳々措カサル所而シテ列國トノ交誼ヲ篤クシ萬邦共榮ノ樂ヲ偕ニスルハ之亦帝國力常ニ國交ノ要義ト爲ス所ナリ今ヤ不幸ニシテ米英兩國ト鬪端ヲ開クニ至ル洵ニ已ムヲ得サルモノアリ豈朕力志ナラムヤ中華民國政府曩ニ帝國ノ眞意ヲ解セス濫ニ事ヲ構ヘテ東亞ノ平和ヲ攪亂シ遂ニ帝國ヲシテ干戈ヲ執ルニ至ラシメ茲ニ四年有餘ヲ經タリ幸ニ國民政府更新スルアリ帝國ハ之ト善隣ノ誼ヲ結ヒ相提携スルニ至レルモ重慶ニ殘存スル政權ハ米英ノ庇蔭ヲ恃ミテ兄弟尚未タ牆ニ相鬪クヲ悛メス

米英兩國ハ殘存政權ヲ支援シテ東亞ノ禍亂ヲ助長シ平和ノ美名ニ匿レテ東洋制覇ノ非望ヲ逞ウセムトス剩ヘ與國ヲ誘ヒ帝國ノ周邊ニ於テ武備ヲ増強シテ我ニ挑戰シ更ニ帝國ノ平和的通商ニ有ラユル妨害ヲ與ヘ遂ニ經濟斷交ヲ敢テシ帝國ノ生存ニ重大ナル脅威ヲ加フ

朕ハ政府ヲシテ事態ヲ平和ノ裡ニ回復セシメムトシ隱忍久シキニ彌リタルモ彼ハ毫毛交讓ノ精神ナク徒ニ時局ノ解決ヲ遷延セシメテ此ノ間却ツテ益々經濟上軍事上ノ脅威ヲ増大シ以テ我ヲ屈從セシメムトス斯ノ如クニシテ推移セム力東亞安定ニ關スル帝國積年ノ努力ハ悉ク水泡ニ歸シ帝國ノ存立亦正ニ危殆ニ瀕セリ

事既ニ此ニ至ル帝國ハ今ヤ自存自衛ノ爲蹶然起ツテ一切ノ障礙ヲ破碎スルノ外ナキナリ皇祖祖宗ノ神靈上ニ在リ朕ハ汝有衆ノ忠誠勇武ニ信倚シ祖宗ノ遺業ヲ恢弘シ速ニ禍根ヲ芟除シテ東亞永遠ノ平和ヲ確立シ以テ帝國ノ光榮ヲ保全セムコトヲ期ス

御名 御璽

平成十六年十二月八日

各国务大臣副書

## 米英両国に対する宣戦の証書

天佑を保有し、万世一系の皇祚を踐める大日本帝国天皇は、昭に忠誠勇武なる汝、有衆に示す。朕、茲に米國及び英國に対して戦を宣す。朕が陸海將兵は、全力を奮つて交戦に従事し、朕が百僚有司は、励精職務を奉行し、朕が衆庶は、各々其の本分を尽し、億兆一心にして國家の総力を挙げて、征戦の目的を達成するに遺算なからんことを期せよ。

抑々、東亞の安定を確保し、以つて世界の平和に寄与するは、丞顕なる皇祖考、丞承なる皇考の作述せる遠猷にして、朕が拳々措かざる所。而して列國との交誼を篤くし、万邦共榮の樂を偕にするは、之亦、帝國が、常に國交の要義と為す所なり。今や、不幸にして米英兩國と葦端を開くに至る。洵に已むを得ざるものあり。豈、朕が志ならんや。

中華民國政府、曩に帝國の真意を解せず、濫に事を構えて東亞の平和を攪亂し、遂に帝國をして干戈を執るに至らしめ、茲に四年有余を経たり。幸に、國民政府、更新するあり。帝國は之と善隣の誼を結び、相提携するに至れるも、重慶に残存する政權は、米英の庇蔭を待みて、兄弟尚未だ牆に相閲ぐを憐めず。

米英兩國は、残存政權を支援して、東亞の禍亂を助長し、平和の美名に匿れて、東洋制覇の非望を逞うせんとす。剩え与國を誘い、帝國の周辺に於て、武備を増強して我に挑戦し、更に帝國の平和的通商に有らゆる妨害を与へ、遂に經濟斷交を敢てし、帝國の生存に重大なる脅威を加う。

朕は、政府をして事態を平和の裡に回復せしめんとし、隱忍久しきに弥りたるも、彼は毫も交讓の精神なく、徒に時局の解決を遷延せしめて、此の間、却つて益々經濟上、軍事上の脅威を増大し、以つて我を屈從せしめんとす。斯の如くにして、推移せんか。東亞安定に関する帝國積年の努力は、悉く水泡に歸し、帝國の存立、亦正に危殆に瀕せり。

事既に此に至る。帝國は今や自存自衛の為、蹶然起つて、一切の障礙を破砕するの外なきなり。皇祖皇宗の神靈、上に在り、朕は、汝、有衆の忠誠勇武に信倚し、祖宗の遺業を恢弘し、速に禍根を免除して、東亞永遠の平和を確立し、以つて帝國の光榮を保全せんことを期す。

御名 御璽

昭和十六年十二月八日

各國務大臣副書